

# 特別演習概要

## 経営学特別演習

これまでの歴史を振り返ると、企業は人間の命と同様、永遠に存続できるわけではない。日々環境の変化にさらされており、常に環境に適応していかなければ、存続は不可能である。そこで、本演習では現実の企業に焦点を当て、外部的には技術革新やグローバル化、内部的には経営戦略といった観点から、種々のステイクホルダーの立場に立脚して分析を進める。

## 国際経営特別演習

誰が「企業」を支配するのか、あるいは誰が社会的に影響力を持つ現代の「企業」をどのように規制するのかというコーポレート・ガバナンス（以下、CGと表記）の問題が、世界各国で活発に議論され、焦眉の問題となっている。本演習では、日米独のCGについて比較検討を行うとともに、EU域内企業のCGを議論し、そして、グローバル企業とCGが、どのような関係にあるのかを理論的に研究する。その際には、経済倫理・企業倫理の観点からも考察を行う予定である。

## 会計学特別演習

近年、会計をめぐる制度的環境は大きく変化している。その制度変革の背景は何か、またその基礎にある論理的思考について考察したうえ、具体的に変わった会計制度、会計基準について検討し、現行会計の理論と制度について理論的かつ実践的に研究する。

## 経営情報学特別演習

原材料・商品等の在庫資産を圧縮する・受注商品は直ちに注文者に届ける・ビジネスの現状が常に把握できる等の実現は企業情報の有効活用なしにはありえない。院生はこの実情をふまえ各自分析対象・課題を設定して、ヒアリング・文献・webを活用しての調査を行うなど実証的な研究を行う。

## データベース特別演習

ソフトウェア進化における企業情報システムへの適応をテーマに、情報システムの開発・運用を中心に研究を行う。具体的には、データベース開発プロセス、データマイニング、ビッグデータなどの現代的課題を中心にデータベース開発および運用について演習を行う。

## 情報システム特別演習

ソフトウェア進化における企業情報システムへの適応をテーマに、情報システムの開発・運用を中心に研究を行う。具体的には、オブジェクト指向分析設計、ソフトウェア開発プロセス、プロジェクト・マネジメントを中心に効果的システム開発および運用について演習を行う。

## 経済学特別演習

（実証）経済学の研究を遂行する上で重要なのは、現実を偏りのない目で観察し、仮説を推論し、それをデータで検証するという一連の作業を手際よく行えることである。本演習ではそのために必要な資質を身につけることを目標とする。取り上げるテーマについては、柔軟に対応する。

## 情報処理特別演習

近年、企業では、多量のデータの取扱いや活用が求められ、意思決定やビジネスプロセスを支える情報の即時性や信頼性が重要性を増している。本演習では、情報処理や情報交換の効率や情報システムの信頼性に関する理論を学習した後に、企業の抱える課題を情報処理の観点から分析し、課題解決への理論の適用について研究する。